

授業科目(ナンバリング)	地 誌(CA215)			担当教員	大平 晃久		
展開方法	講義	単位数	2 単位	展開方法	2 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
中学校社会科教員免許の必修科目として、東南アジア地域を理解する枠組みと基本的な知識を学ぶとともに、地域を総合的にとらえる地誌の基本的な見方・考え方を学ぶ。その際に長崎と東南アジアとの歴史的な関わりにも触れる。また、パソコンを用いた分布図の作成実習も行う。							② ⑨ ⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1) 東南アジア地域の概要を理解し、説明できる。 (2) 地誌の基本的な見方・考え方を理解し、それによって地域を捉えることができる。 (3) GIS ソフト MANDARA を用いて正しいコロプレスマップを作成できる。				(1) (2) 小テスト ミニ・レポート (3) 提出物	30% 20% 20%	
情報収集、分析力						%	
コミュニケーション力						%	
協働・課題解決力						%	
多様性理解力	東南アジアの文化・社会・宗教面での多様性、また日本との違いを理解し、説明できる。				小テスト ミニ・レポート	20% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験では地域を捉える様々な概念・方法の理解度、東南アジア地域に関する応用的な考察力を主に問う。 小テスト、ミニ・レポートは毎回実施し、講義内容の理解度や資料として提示した文章・映像の理解度・考察力を評価する。また、小テスト、ミニ・レポートのフィードバックを授業内で行う。 MANDARA によるコロプレスマップの作成を課し、地図・教材としての完成度を評価する。 							
授 業 の 概 要							
<p>地誌とは、ある対象地域について、自然環境、経済、歴史、文化、政治・社会など様々な視角から、そして総合的に分析し、地域の全体像を描き出すことを目標とする分野である。この講義は、(1) 日々の生活や観光、あるいは将来の仕事で関わりの深い、東南アジアについて知り、総合的に考えること、さらに (2) 東南アジアの学習を通じて、地域の見方考え方を身につけることをねらいとしている。また、地域理解に欠かせない小縮尺の地図の利用法や、コロプレスマップ(分布図)の作成についても学ぶ。</p> <p>現代の東南アジアを理解するために重要なテーマを選び、写真や映像を多く提示し講義を進めていく。授業中には毎回小テストやミニ・レポートを課す。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：二宮書店編集部編『データブック・オブ・ザ・ワールド2020』二宮書店、2020(過年度版でも可)。 参考書：片山裕・大西裕編『アジアの政治経済・入門 新版』有斐閣、2010。 指定図書：片山裕・大西裕編『アジアの政治経済・入門 新版』有斐閣、2010。</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
新聞やweb上の情報、テレビのニュース、ドキュメンタリー番組などで東南アジアの現在を知ること。むろん、できれば実際に旅してほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション・アジアとは？東南アジアとは？	地誌の学問的・教科教育的な位置づけをみたのち、現在、われわれがアジア、東南アジアとよぶ地域が成立してきた過程を概観する。	復習：シラバスの再読、配布プリント復習（オリエンタリズム）
2	地形と気候	東南アジア大陸部・マレー半島を事例に、地形と気候の多様性を学ぶ。	復習：配布プリント復習（雨温図の読み取り）
3	自然条件と農業	タイの中部と東北部を事例に、地形・気候と農業の関係を考える。	復習：タイ東北部（イサーン）について文献・web調査
4	熱帯林の減少	ボルネオのオランウータン保護施設を紹介し、経済活動による熱帯林減少をどう見るか考える。	復習：配布プリントの追加課題（熱帯林保護と経済発展の関係）
5	国際経済と ASEAN	東南アジア諸国の輸出志向型工業化による経済発展と ASEAN の経済的な地域統合を概観する。	復習：参考書第 1 章・第 12 章閲読
6	都市問題	フィリピンとその首都マニラを事例に、人口爆発と都市への人口集中がもたらす問題を考える。	復習：参考書第 8 章閲読
7	国際関係	冷戦・新冷戦から中国の台頭・米中対立まで、東南アジアを取り巻く国際政治を概観する。	復習：参考書第 2 章・第 3 章閲読
8	イスラーム	東南アジアの主要宗教であるイスラームをどうとらえ、どう社会科系教科で教えることができるか考える。	予習：イスラームの基本概念整理、復習：イスラーム報道について文献・web調査
9	ナショナリズムとエスニシティ (1)	マレー半島の華人社会を概観し、マレーシア、シンガポールにおける国民統合のありようを学ぶ。	復習：参考書第 9 章閲読
10	ナショナリズムとエスニシティ (2)	インドネシアを事例に、植民地支配から脱した国家のナショナリズムのありようを、特にバリに注目して考える。	復習：参考書第 7 章閲読、バリについて文献・web調査
11	小縮尺地図の利用	小縮尺地図の利用目的に応じた図法と、小縮尺地図に現れる政治的な主張を考える。	復習：配布プリント復習（小縮尺図の図法）
12	コロプレスマップの作成	フリーGIS ソフト MANDARA を用いて、国別のコロプレスマップを作成する。	予習：MANDARA の基本操作、復習：独自のコロプレスマップ作成
13	日本との歴史的関係 (1)	近世における日本と東南アジアの交易、また日本町について学ぶ。	予習：日本中近世対外関係史の主要事項確認、復習：配布プリント復習（長崎貿易）
14	日本との歴史的関係 (2)	近代における日本から東南アジアへの移民・出稼ぎについて学び、歴史認識を考える。	復習：配布プリント復習（日本からの移民・出稼ぎ）
15	まとめ	講義全体のまとめを行い、地誌の見方・考え方について整理する。	復習：配布プリント復習（地域の概念）、これまでの配布資料の整理
16			